

高知憲法速報

№172 2008. 9. 12

発行：高知憲法会議事務局

088-872-3406

編集人 事務局 徳弘嘉孝

後期高齢者医療制度廃止・療養病床削減反対 県民集会

9月1日、福田首相の退陣表明で政局は緊迫してきました。秋の臨時国会では、参議院で可決された「後期高齢者医療制度廃止法案」を衆議院でも可決させなければなりません。早期解散がらみで動いており、予断を許しません。また、2011年度末までに県内では、約4,000床もの療養ベッドがなくなるかどうかの瀬戸際に立たされています。

「生きるなと いうなら もっと 生きてやる」
後期高齢者医療制度の廃止を求める運動も粘り強く取り組まれてきました。第4回目の年金天引き日を前に、県民の声を結集する集会が計画されています。

日時；10月13日(月・休) 13時～16時

場所；高新文化ホール

内容；講演 田中きよむさん・高知女子大教授

田中誠さん・上町病院院長

マジックショー・高知中央高校奇術部

老人クラブのサークルに出演依頼中

主催；県民集会実行委員会

事務局；高知県革新懇(高知城ホール内)

協賛団体；高知県医師会、高知県保険医協会

高知市老人クラブ連合会、四万十市老人クラブ

連合会、土佐清水市身体障害者連盟

平和的な国際貢献が求められている

自民党総裁選挙の中で、来年1月に期限の切れる「給油継続法案」延長の世論作りをめざして、「国際貢献のためには、インド洋での給油継続が必要だ」との主張が述べられています。与党プロジェクトチーム9月3日の会合では、延長法案を臨時国会に提出することで合意したと伝えられます。

しかし、8月26日武装グループに拉致され、翌日遺体で発見されたペシャワール会の伊藤和也さんの事件を見ても明白なように、真の国際貢献とは今アフガンの人々が必要としている支援をすることこそ大切なのではないのでしょうか。伊藤さんは用水路建設や農業支援活動などを行っていました。拉致直後から、地元警察のほか村人たちも続々と捜索活動に加わり、1000人以上になったと伝えられます。地元で慕われていた青年の死は残念でなりません。

署名集約状況 9/12現在

会員団体名	署名目標	到達
県労連	20,000	4,315
県教組		1,401
高教組	10,000	646
私学教組		30
自治労連		3,874
県国公		2,200
福祉保育労	3,000	70
平和委員会	5,000	702
民青同盟		
新婦人	20,000	16,849
商工団体連合会	15,000	16,718
自由法曹団		
地域人権連		
高退協		100
治維同盟		
梅原憲作		
共産党県委員会	40,000	2,454
医労連		77
民医連		12,652
学習協		
山下道子法律事務所		
退教協		750
退婦教		3,340
農民組合		
その他		732
街頭署名		4,922
小計		71,832
母連		11,449
うち重複集約(報告)分		9,269
有権者過半数目標/到達合計	331,000	74,012
こうち九条の会街頭署名		7,071

ジャーナリスト・白川徹さんは、アフガン人の中での対外国人感情・対日感情が相当悪化しているといいます。最大の要因は「誤爆」などを繰り返す外国軍への不満の高まりです。これまで比較的良好だった対日感情も、今年1月にインド洋での給油継続法案が再可決され、このニュースがアフガンでも大きく報道されて米軍支援の活動が広く知られ、急激に悪化しました。軍隊こそが治安悪化の要因を作り、NGOを危険にさらしている、だから日本政府としてアフガンに関わる場合は軍隊ではなく、いかにNGOが安全に働く環境をつくるのかを第1に考えるべきだと指摘します。

